

鈴木あつこ NEWS

リベラル群馬ニュース



あなたとつくる
こどもたちの未来

いつも大変お世話になっております。

さて、昨年から値上げが止まりません。ガソリン代も、食料品も、何もかも…。私たちの生活や地域経済を直撃しています。

そんな中で、政府は防衛費の大幅増を決め、増税方針を打ち出しました。防衛費は今後GDP比2%を目指すと言われ、実現すれば11兆円。日本は米国、中国に次ぐ世界3位の「軍事大国」となってしまいます。

ところで、子ども・子育て支援に対する日本の予算は「GDP比1.79%」です。OECD平均（2.34%）を下回り、政策で出生率の引き上げに成功したフランス

（3.6%）の半分以下。さらに国内では防衛費に抜かれる可能性さえ出てきました。日本で「少子化」が叫ばれて早30年。

子育てや教育費にお金がかかりすぎることが少子化の大きな原因なのに、「未来への投資」に対して国の姿勢は及び腰です。

一方で、お金だけの問題でもありません。例えば、非正規雇用の人にとって妊娠・出産は雇い止めのリスクがあり（違法であっても）、正規雇用の人にとっても両立の難しさやキャリアの中断・停滞など様々な壁が立ちます。日本は子どもや子育てに「優しくない」と感じます。

もちろん、子どもを持つ持たないは個人の自由です。誰もが希望する生き方を選ぶよう、前向きな未来を描けるよう、政治の力で変えていきます。

誠心誠意がんばってまいります。引き続きのご指導をよろしくお願いいたします。

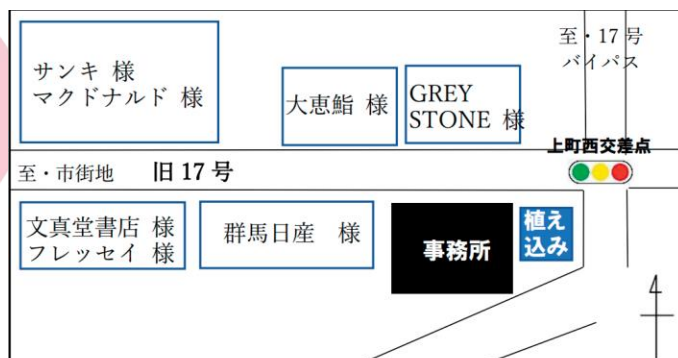
新しく事務所を開設しました！

どうぞお気軽に
お越しください
お子さまも大歓迎です

場所 高崎市倉賀野町815

TEL 027-388-8708

FAX 027-388-8083



一般質問に登壇しました。今回も、普段なかなか政治の場に声が届きにくい立場にある方々のご意見やご要望をしっかりと盛り込ませて頂きました。一部を抜粋してご紹介します。

①「子どもアドボカシー」制度について

Q. 子どもの権利を守るため、子どもの意見表明を支援する「子どもアドボカシー」制度。県の導入計画は？ 既に東京や福岡など11カ所以上で、子どもの意見を聞くための第三者機関が設置されている。2019年に千葉県で発生した虐待事件では、子どものSOSが無視され父親の主張が優先された結果、子どもが命を落とした。まずは社会的養護の対象となっている子どもの声、ゆくゆくは全ての子どもを聴く仕組みづくりが重要だ。

A. 国の動向などを踏まえ、まず一時保護所に入所している子どもたちが意見表明しやすい環境整備や仕組みづくりを検討する。（生活こども部長）



質疑の様子は
こちらから



② 性暴力の被害者支援について

Q. 男性や子どもの性暴力被害者の相談体制や、産婦人科以外の受診が必要な場合の支援体制は？ また、性暴力被害の背景に、貧困や虐待で家に居場所がなかったり、障害特性に付け込まれたりするなど別の問題が隠れていることがある。再び被害に遭わないような支援策は？

A. 産婦人科病院の敷地内にある性暴力被害者サポートセンター「Saveぐんま」を中心に、県内各地域の医療機関で必要な医療を提供している。同センターでは精神保健福祉士や社会福祉士の資格を持つ相談員が対応するほか学校や児童相談所等とも連携して支援している。（生活こども部長）

県が作成し、小学生に配布している「Saveぐんま」のリーフレット。性暴力被害をはっきりと認識できない子どもにも分かるよう具体例を記載。「ズボン下ろし」もれっきとした性暴力です！



③ ストーカーの加害者更生について

Q. ストーカー事案の現状は？ 被害者は自身や家族の身が危険にさらされ、被害者が転居や転職を迫られて理不尽だ。精神的にも金銭的にも苦しくなる。海外のように認知行動療法を取り入れた加害者の更生支援制度の導入は？

A. 相談受理件数は8月末時点で185件、それに対する口頭指導、書面警告、禁止命令、いずれも前年より増加した。加害者の特性を踏まえた精神医学的・心理学的アプローチも必要で、国の取り組みを引き続き県でも進めていく。（県警本部長）

④ 自転車の命を守る交通政策について

Q. 群馬県は中高生の自転車事故率が全国ワースト1。事故にならなくとも恐怖を感じている場面は多く、子どもたちが「命がけ」で通学している。一般的に対トラックの事故で最も多いのが左折巻き込み。車と歩行者・自転車の青信号のタイミングが同じという交差点の構造的な問題と言える。解決策として青信号のタイミングをずらして交錯を避ける「歩車分離式信号機」が必要ではないか。

▼地域住民の要望や交通量などを総合的に勘案して設置を進めていく。（県警本部長）

A. 昨年、県内で自転車と車の人身事故は1714件。うち自転車側の当事者が高校生605人、中学生202人で、全体の約5割を占めた。また県内には114カ所の歩車分離式信号機（2021年度末現在）がある。➤



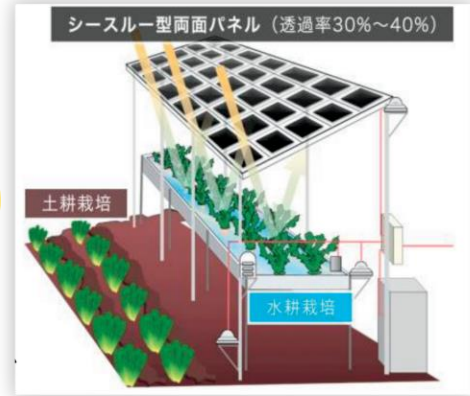
道路交通法で自転車は車道走行と規定されていますが、危険な場面も数多く見られます

⑤ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）について

Q. 2050年までに温室効果ガス排出量「ゼロ」などを掲げた「ぐんま5つのゼロ宣言」の実現に向けて、太陽光発電の具体的な計画は？ また、農地に太陽光発電装置を設置するソーラーシェアリングの仕組みを、県内にある遊休農地（約9000ha）を活用して推進できないか？ 農作物と電力を同時に生み出せば一石二鳥ではないか。

A. 太陽光発電は2019年度末の年間23億kWから2030年度までに42億kWへと増やす目標。一方で自然保護の観点から、開発を伴う野立て型から屋根置き型に転換を図っている。営農型太陽光発電には県も注目しており、遊休農地を多く抱える市町村などとの連携も検討していく。（グリーンイノベーション推進監）

先進的に各地でソーラーシェアリング事業に取り組んでいる「ファームドゥ」社の仕組みの一例（同社提供）



⑥県立高校の男女共学化について

Q. 県内の公立高校64校のうち12校が男女別学。学力や能力が同等でも性別によって門前払いするのは公教育の場で不適切だと考える。既存の男子校、女子校の廃止・統合ではなく、全校で性別要件を撤廃する方向で検討できないか。「始動人」の育成を掲げる県としても多様性（ダイバーシティ）は重要なはず。現役の子どもたちや未来のことを第一に考えて共学化を進めるべきだ。

A. 大きな時代の流れとしては共学化の方向にあると思っているが、多様な意見に耳を傾け、地域の実情も考えながら丁寧に進めていくことが大事だ。ダイバーシティは大きな力になるし、群馬県も多文化共生社会を目指している。だが、様々なご意見がある。長年の伝統や文化、OB・OGの価値観なども受け止めながら、丁寧に進めていきたい。（知事）

産経土木常任委員会

- ・Gメッセ群馬の映像クリエイティブ拠点化
- ・全国旅行支援「愛郷ぐんま全国割」
- ・銀座アンテナショップ「ぐんまちゃん家」閉店
- ・MaaS（次世代交通サービス）社会実装支援事業
- ・交通まちづくり戦略の見直し
- ・関根発電所リニューアル（騒音対策） などのテーマで議論

県の群馬産業技術支援センター。デジタル機器を見て、触って、体験できる。企業や事業所のDX化を支援



子育て・障害者支援に関する特別委員会

- ・「県ヤングケアラー支援庁内外連絡会議」の委員である社会福祉士やケアマネジャーらと意見交換
- ・「県障害者芸術文化活動支援モデル事業」の実施団体である法人の代表らと意見交換

図書広報委員会など

ショート動画！

秋山議員VER. 鈴木議員VER.

議員に聞いてみた！

本編動画！

群馬県議会 GUNMAKENGIKAI

まずはコチラからどうぞ！

政治に「ガチ」の意見

12月21日付上毛新聞

群馬県議会議員と高校生が意見交換... 3年生26人が政... 意欲的に質問... 氏（リベラル群... 氏は現金の使... 役割について... 人口などをクイ... た。

生徒は児童... てほしい「生... 数を増やせな... 広い話題で質問... 受けた鈴木... 変りけれど、誰... こと楽しくな... と、2017年... 山田



若者向けに動画で県議会をPR

高校に出向いて意見交換「GACHI 高校生×県議会議員」

◇鈴木あつこ（敦子）プロフィール◇

1981年生まれ。奈良女子大学卒業後、派遣社員を経て2005年に毎日新聞社に入社。前橋支局で記者生活をスタート（以来、群馬県在住）東京本社生活報道部を挟んで2016年から再び前橋支局。近年は主に行政分野を担当した。2021年に同社を退社し、同年の県議補選で初当選。家族は夫と子ども2人。思春期まっただ中の娘とやんちゃ盛りの息子に日々振り回されている。

◇資格◇

中学校／高等学校教諭
一種免許状（英語）
博物館学芸員

◇好きなもの◇

古墳、遺跡、ソフトボール、ラグビー

◇好きな言葉◇

「個人的なことは政治的なこと」

◇関心分野◇

人権、福祉、介護、教育、子育て、労働、ジェンダー平等、地方創生、防災



会派から知事に29項目
の政策提言書を提出

特に私は

- ・子どもアドボカシー制度の早期導入
- ・自転車事故の予防策
- ・歩車分離式信号機の設置促進
- ・包括的な人権条例の制定
- ・外国人労働者への人道的な対応を要望しました



ぐんま女性議員政策会議
からも知事に要望



鈴木あつこへの応援をよろしくお願いします

ボランティア

ピラ配り、座談会の開催、SNS投稿シェア、LINE登録など無理のない範囲でご協力いただければ幸いです

大切に使用させていただきます

ご寄付

振込先：群馬銀行
倉賀野支店 0802489 鈴木あつこ後援会

「鈴木あつこ後援会（旧応援する会）」

▽お名前 ▽ご住所 ▽電話番号 ▽FAX番号▽メールアドレス ▽所属団体・紹介者
▽ポスターや看板の設置可否 を事務所までお好きな方法でお知らせください

右のQRコードからもご登録いただけます→



日々の活動報告はこちらから

鈴木あつこ事務所
〒370-1201 倉賀野町1592-2（旧「小金沢医院」2階）
TEL/FAX 027-335-6485
※留守番電話の時はメッセージをお願いいたします
MAIL suzuki.atsuko01@gmail.com

鈴木あつこNEWS（リベラル群馬ニュース） 発行人：鈴木敦子

